

与論島の航路標識監視協力者へ感謝状伝達 ～外海離島の海の安全への貢献に感謝を込めて～



令和4年11月1日
奄美海上保安部



11月1日の灯台記念日、奄美海上保安部は、与論島の与論港の海のみちしるべ与論港供利指向灯の灯火監視協力者、武東タツ子さまへ、第十管区海上保安本部長の感謝状を伝達しました。武東さまは、2007年11月1日に奄美海上保安部長から指向灯の監視を受託、15年間に亘り、与論港の安全に貢献されてきました。

感謝状は、与論町の町長室で武東さまの御令嬢と与論町副町長の立会いのもと伝達、新聞1社と与論町広報誌の取材も行われ、翌日の新聞で広く報道されました。

外海離島である奄美群島では、燃料や食料などの生活必需物資の安定供給には船舶による海上輸送が不可欠で、与論港は、タンカー、貨物船や定期フェリーが寄港可能な与論島唯一の港です。また、奄美群島の38の航路標識は、6つの離島に点在、これらの適切な管理や台風通過後等の被害の把握と迅速な復旧には、監視協力者が不可欠です。これまでのご協力への感謝を込めて感謝状を伝達、引き続きのご協力をお願いしました。



伝達



左から、ご令嬢・武東さま・副町長



奄美群島の航路標識の配置